

組合員の声を取り組みの質を高める

～自己改革の実践に向けた組合員の意思反映～

自己改革の実践にあたっては、正組合員との対話のみならず、准組合員向け各種活動の機会などを通じて、地域の「農とくらしをともに支えるパートナー」である准組合員の声を聴くことで、組合員や地域の評価を踏まえながら必要な見直しを行っています。また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、組合員資格別の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう、正組合員と准組合員が一体となったJA運営の実現に取り組んでいます。

役員による組合員との対話

令和7年度
対話人数 **300人**
(前年比 91%)

●令和6年度実績：327人
●令和7年度計画：377人

地区別座談会

令和7年度
出席人数 **791人**
(前年比 99%)

●令和6年度実績：792人
●令和7年度計画：1,200人

職員による組合員訪問

令和7年度
訪問人数 **6,326人**
(前年比 92%)

●令和6年度実績：6,846人
●令和7年度計画：7,800人

准組合員向け活動における対話・アンケート等による意見聴取

令和7年度
活動実施回数

15回

(前年比 88%)

●令和6年度実績：17回
●令和7年度計画：14回以上

令和7年度
参加人数

241人

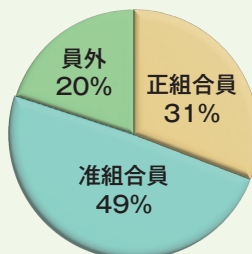
(前年比 41%)

●令和6年度実績：586人
●令和7年度計画：300人以上

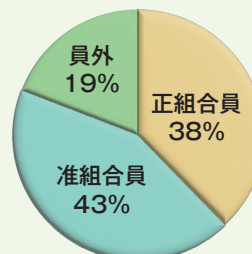


組合員資格別の事業利用の状況（令和8年2月末現在）

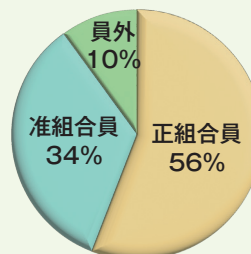
●組合員数(単位:人、法人、団体) 正組合員 4,051 准組合員 14,833 組合員合計 18,884
●各事業の「正組合員」には「正組合員家族」の取引を、「准組合員」には「准組合員家族」の取引を含みます。



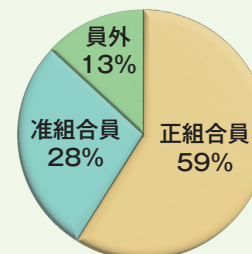
金融事業(貯金残高)



金融事業(貸出金残高)



共済事業(掛金額)



購買事業(供給高)

強く確かな経営が自己改革を支える

～経営基盤の確立・強化の取り組み～

JAあつぎが目指す総合事業を基本とした不断の自己改革は、確かな経営基盤が改革の実践を支えています。JAあつぎは、農業をめぐる状況や社会・経済情勢を踏まえた収支シミュレーションの実施によって将来を見通し、経営基盤の強化に向けた事業総利益の確保と、事業の効率化を通じたさらなる事業管理費の抑制に取り組んでいます。

組合員の事業利用拡大に向けた総合相談の充実

令和7年度
総合相談件数

197件

(前年比 96%)

●令和6年度実績：204件 ●令和7年度目標：150件

業務効率化による人件費管理

令和7年度
人件費

26億31万円

(前年比 96%)

●令和6年度実績：26億8,515万円 ●令和7年度目標：26億1,232万円



令和7年度

JAあつぎ自己改革の実践

夢ある未来へ「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」であり続けるために

JAあつぎは、平成27年1月に独自の「JAあつぎ自己改革プラン」を策定し、取り組み事項を事業計画に反映したうえで、組合員が求める自己改革の実践に取り組んでまいりました。

本資料では、令和4年度から新たに取り組むこととなった「自己改革実践サイクル」への対応の状況と、これまでJAあつぎが実践してきた取り組みの主な成果をご報告いたします。

「自己改革実践サイクル」とは？

「自己改革実践サイクル」は、令和3年6月に閣議決定された規制改革実施計画において示された、JAが組合員との対話を通じて自己改革を実践していくための仕組みで、JAが①自己改革実践の方針を総代会で決定し、②将来の収支シミュレーションを用いた経営基盤強化に取り組み、③准組合員の意思反映と事業利用の方針をJA自らが判断する、これら3つの方針を計画・実行し、組合員の評価や意向を踏まえ方針を修正し、次の事業計画等へ反映させるPDCAサイクルを指します。

JAあつぎは、従来の自己改革の実践に加え、令和4年度から「自己改革実践サイクル」に対応し、令和5年度からの中期計画「第16次協同活動強化運動JAあつぎ3か年プラン」に反映した取り組みをすすめています。



自己改革に対する組合員の評価

調査対象：正組合員・准組合員(生産組合加入)
調査方法：個別訪問による聴き取り

農業者の所得増大に向けた取り組み

評価できる

54.0%

評価できるが
もっと取り組みを
強化してほしい

13.2%

評価できない 0.4% わからない 32.4%

地域活性化に向けた取り組み

評価できる

57.0%

評価できるが
もっと取り組みを
強化してほしい

13.8%

評価できない 0.5% わからない 28.7%

組合員の意思反映に向けた取り組み

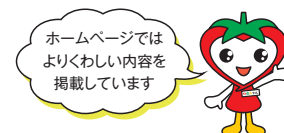
評価できる

59.7%

評価できるが
もっと取り組みを
強化してほしい

11.0%

評価できない 1.9% わからない 27.4%



ホームページでは
より詳しい内容を
掲載しています

JAあつぎ
<https://www.ja-atsugi.or.jp/>



JAあつぎ 検索

〒243-0004 神奈川県厚木市水引2-9-2
☎046-221-1666 FAX:046-221-3279

発行/令和8年4月

夢ある未来へ地域農業の価値を高める

～農業者の所得増大に向けた取り組み～

JAあつぎは、農業者の所得増大に向けた自己改革の実践とともに、地域が抱えるさまざまな農業課題の解決に向けた提案や、新たな担い手の育成など、持続可能な地域農業を目指した取り組みをすすめています。

米生産農家に対する取り組み

良質な米の生産を支え農家所得につなげる

JA買取米数量拡大を通じた売上増加

令和7年度 買取数量

16,531袋

(前年比 99%)

- 想定売上増加効果：1袋あたり972円
- 令和6年度実績：16,617袋
- 令和7年度目標：19,000袋



各種水稻講習会の開催

令和7年度
講習会参加者数

380人



適切な追肥時期を皆で共有

水稻苗の健苗供給

令和7年度
育苗供給数

43,461枚



米生産拡大に向けた水稻苗の育苗

すべての生産者に対する取り組み

コストの低減、生産・出荷の安心、どちらも叶える

共計取扱数量拡大・土壌診断を通じたコスト低減

令和7年度
肥料予約
注文数量

22,848袋

(前年比 99%)

- 想定売上増加効果：1袋あたり185円
- 令和6年度実績：22,858袋
- 令和7年度目標：29,000袋

令和7年度
農薬予約
注文数量

11,575個

(前年比 105%)

- 想定売上増加効果：1個あたり311円
- 令和6年度実績：10,985個
- 令和7年度目標：13,100個

令和7年度
土壌診断
件数

205件

※土壌内の不足する養分と過剰な養分を「土壌診断」により把握し、過剰な施肥を防ぐことでコスト低減につながります。

買取販売の拡大を通じた売上増加

令和7年度
買取数量

104,504点

(前年比 85%)

- 想定売上増加効果：1点あたり29.3円
- 令和6年度実績：122,740点
- 令和7年度目標：187,200点

農作業受委託による農地利用促進

令和7年度
受託件数

247件



6次産業化による付加価値の向上



ぬれかり煎



災害備蓄用おかゆ



厚木地粉うどん



さがみビール



葉ニンニク餃子



蒸し大豆

新規就農者をはじめとした担い手に対する取り組み

就農後の不安や担い手の悩みに全力で寄り添う

農業機械レンタル事業による担い手支援

令和7年度
取扱件数

321件



担い手・新規就農者の育成

令和7年度
新規就農者数

4人

土地利用型作物の生産拡大

令和7年度
小麦作付面積

411a

Pick up

営農経済センター「あぐりべえ」に 新施設農機保管庫が完成

JAあつぎは、営農経済センター「あぐりべえ」内に農機保管庫を建設しました。4月に起工式、11月に竣工式を行い、1月の総合展示会より本格的に稼働をはじめました。本施設は、持続可能な地域農業の実現と組合員の利便性向上を目的に、JAの農業機械レンタル事業や農作業受委託事業用の農業機械を保管する場所として活用してまいります。



足柄茶100周年 記念キャンペーンで消費拡大



令和7年は管内で栽培される「足柄茶」が100周年を迎えたことを記念して、さまざまなイベントや式典が行われました。

6月には県内JA直売所で一斉に「足柄茶100周年記念キャンペーン」が開催され、JAあつぎでも対面販売や記念リール缶のプレゼントを実施するなど、消費拡大や認知度向上に取り組みました。

農を軸としたつながりが地域の力を高める

～地域活性化に向けた取り組み～

JAあつぎは地域に根ざした協同組合として、人々のつながりによる地域の活性化を目指しています。また、総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組んでいます。

支所店を拠点とした協同活動の充実

令和7年度
地区運営委員会による
農業体験等の開催回数

11回

(前年比 91%)

- 令和6年度実績：12回
- 令和7年度目標：9回

移動販売車による買い物支援

令和7年度
移動販売車
利用者数

9,437人

(前年比 92%)

- 令和6年度実績：10,163人
- 令和7年度目標：11,000人

食農教育事業の実践



親子夢末Kidsスクール



ふれあい水田



ちゃぐりんフェスタ